

5、6月29日開催の緑土会セミナー「第13回プロジェクトマネジメントセミナー」開催の報告

①小林副会長より開催報告について

- ・添付資料「5、6月29日開催の緑土会セミナー開催の報告」にて報告
- ・今後ホームページなどを通じて紹介と報告をしていきたい

②開催詳細と今後の課題

- ・草柳会長、皆川副会長が都市工学科として講師として参加され緑土会協賛
- ・緑土会会員からも講師を募集している
- ・渋谷五島育英会ビルB1「東京都市大学 渋谷サテライトクラス」にて開催
- ・出席者の固定化が最近問題となっているので緑土会会員の皆さんの参加を期待

③次回移行の開催予定日

- ・今年度の開催予定日について
- ・8月31日（水曜日）、10月26日（水曜日）、12月21日（水曜日）
- ・皆さんの参加を期待しています

6、幹事の見直し等についての方向性について

①小林副会長より欠席の丸山総務会長に代わり報告

- ・添付資料「学年幹事のアンケート実施中間結果」報告
- ・138名の学年幹事（添付資料参照）に対して往復葉書とメールにて実施
- ・アンケート結果
 - 継続と未回答を合わせると69名と半数が緑土会活動に対して前向きな返答
- ・後の半数はどのような状態なのかは不明である
- ・卒業後間もない卒業生については連絡が付きづらい
- ・実家にはハガキなどの連絡などが届いているが、住所を変更していないので帰省時に見ることになる

| | | | |
|-----|-----|-----|-------------------------|
| 継続 | 35 | 継続 | はがきに「継続」と意思表示 |
| 交代 | 34 | 交代 | はがきに「交代」と意思表示 |
| 未回答 | 17 | 未回答 | はがきに「出席・委任」と回答するも意思表示なし |
| なし | 52 | なし | はがきの返事なし |
| 確認1 | 138 | | |
| 確認2 | 138 | | |

②今後の方向付けについて参加学年幹事の意見

- ・その学年でもっと話し合い幹事交代者を選出する
- ・学年幹事については各学年が活発に活動していれば交代や意見集約などは十分にできるはずだ、我々の年代はそのようにやっている
- ・年代によって（特に若手）は、幹事会および総会への参加が少ないので、学年幹事同士で連絡を取合い、参加を促すことが必要であるし、参加票の返信についても同様である
- ・未回答、交代希望者に緑土会幹部より、可能な限り積極的に慰留を勧める
- ・緑土会各部会委員（代表幹事含め）より選出して行く
- ・幹事会をもっと開催して行くべき → 少ないから参加者がどんどん減少する（負のスパイラル状態）

③今後の予定・対応について

- ・ 11月の総会に向けて学年の幹事の活性化の大目標に向けて行動していく
- ・ 具体的には名簿が整備されていない状況で幹事の皆さんが要望されるような「直接的な声かけ」は緑土会として今まで何も行っていない状況では無理がある
- ・ 役員や各部会幹部・委員などを通じて各学年への声かけをできるだけしていきたい
- ・ 校友会の活動の一環として緑土会が位置するので卒業生への連絡方法など緊密に連携していきたい
- ・ 将来的には「往復葉書」での連絡ではなく「ファックス」「メール」での手段へ移行予定
- ・ 学生会委員については「新緑会」役員と協力して学生時代での「メールアドレス」から就職先の会社アドレス入手前の状態を無くす様に「個人アドレス」取得し「卒業生一覧のメールアドレス」の作成について検討依頼済み
- ・ 学生の保有アドレス「g1218+++@tcu.ac.jp」→「g1218+++@gmail.com」など@前を変えずに個人アドレス作成方法など
- ・ 幹事会については現在年3～4回を計画しているが138名の幹事会はこれが限界
- ・ 各部会への積極的な参加・活動を学年幹事の皆さんに求めていきたい、これについては前回の幹事会やホームページでも呼びかけている
- ・ 今回の幹事会にて活動参加の申し込みがあり緑土会の部会に参加してもらいます
- ・ 上記施策より「学年幹事候補リスト」を作成し10月末の幹事会、11月の総会の承認事項として纏めていきたい
- ・ 総務会・組織管理部会を主体に、学年幹事の変更の具体的な方法について検討し、最終提案について10月末月の幹事会に具申することとする
- ・ 「③幹事会後の名簿・メールアドレス収集に関する動き（13日以降の動き）」にも関連項目を掲載

草柳会長、皆川財務部会長（副会長兼務）より質疑説明

